

令和5年度 第1回 焼津市地域公共交通会議 会議録		開催	日時 令和5年5月25日(木) 14時45分～16時15分
			場所 市役所4階 応接室
報告事項	(1) 市内バス路線の利用状況等について (2) デマンド型乗合タクシーの利用状況について (3) 第1回焼津市地域公共交通大井川分科会の開催について (4) くるりん号のキャラクターデザインについて		
協議事項	(1) 大井川焼津線の運行改善策について (2) くるりん号の運行改善策について (3) デマンド型乗合タクシーの本格運行への判断評価基準について (4) 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統関係)について		
出席委員 14名	(公共交通会議) 福與 会長 (焼津市) 森田 代理委員 (しずてつジャストライン(株)) 中村 代理委員 (株アンビ・ア) 小泉 委員 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 山田 委員 (ジャストライン労働組合) 増田(秀) 委員 (中部運輸局静岡運輸支局) 山本 代理委員 (静岡県交通基盤部) 財津 委員 (静岡県島田土木事務所) 渡辺 委員 (静岡福祉大学) 神谷 委員 (焼津市社会福祉協議会) 増田(嘉) 委員 (焼津市民生委員児童委員協議会) 遠藤 委員 (さわやかクラブやいづ連合会) 白石 委員 (焼津市自治会連合会) 岩見 委員 (静岡県焼津警察署)		
欠席委員 1名	(一社) 静岡県バス協会 堀内 哲郎		
オブザーバー	焼津市建設部長 久保山 巖夫		
傍聴者	1名		
議事内容			
会議の成立	委員総数15名の内14名が出席している。過半数を超えているため会議は成立する。		
報告事項	(1) 市内バス路線の利用状況等について *説明資料 P.3～8 自主運行バスの利用状況、経費、収支率等及び市内を運行する路線バスの利用者数、市補助額等について説明した。 【質問・説明等】 *特になし		

(2) デマンド型乗合タクシーの利用状況について

*説明資料 P. 9～20

焼津インターチェンジ周辺地域で実施しているデマンドタクシー事業について、利用状況等を説明した。

【質問・説明等】

○増田(秀)委員：利用登録を伸ばすための、登録しやすい、手続きの負担を減らすような取組みはしているか？

⇒事務局：事業開始当初から HP や FAX、電話など様々な方法で受け付けをしてきた。最近では登録用紙を一新し、記入事項を減らすことで手間を省き、より簡潔にした。

○遠藤委員：未利用の停留所が 31 か所もあるが、対策は？

⇒事務局：廃止した大井川西部循環線が通っていた沿線などを含め、要望のあったところに停留所を設置している。引き続き、色々な停留所から乗車できることを PR していく。

○小泉委員：デマンドタクシーは一般のタクシーとは違い、病院や買い物など利用者の「日常使い」として利用されている面が多く、利用者数が安定しているところが良い点だと思う。今年度 4 月利用者は 193 名、5 月は 25 日時点で 253 名と、数を大きく伸ばしている。

要因はコロナが落ち着いてきたこと、暖かくなったこと、新年度になり保育園への送迎が始まったことなどいくつか考えられる。また、今まで利用が少なかった「東名バス」停留所の利用者が増えた。静鉄の東名バス停で乗り換え静岡へ行き、通院や買い物に利用しているようである。

○遠藤委員：(1)で路線バスは全ての路線で利用者が増えていたが、自主運行バスの大井川焼津線は R3→R4 で利用者が少し減っている。この要因は何だと考えるか。

⇒事務局：デマンドタクシーが運行を開始したことにより、大井川焼津線と機能が重複する部分があるため、利用者がそちらへ流れたものと分析している。

○増田(秀)委員：デマンドタクシーの車両は、例えば脚が不自由な人に対応するなど、バリアフリーになっているか。

⇒事務局：福祉タクシーではないため、一般のワゴンタイプの車両である。しかし、利用者の中には脚の不自由な高齢者などもいるため、事業者ができる範囲で対応している。

○小泉委員：デマンドタクシーに従事するドライバーは全員「ユニバーサルドライバー研修」というものを受けており、脚の不自由な高齢者等に適切な

協議事項	<p style="text-align: center;">補助ができるようにしている。</p> <p>(3) 第1回焼津市地域公共交通大井川分科会の開催について *説明資料 P. 21～23 4月18日に開催された「令和5年度第1回焼津市地域公共交通大井川分科会」の概要を説明した。</p> <p>【質問・説明等】</p> <p>○遠藤委員：デマンドタクシーとバスとで費用が高いという意見があるが、いくらかかるのか？また、帰りの時間が読めず予約がネックになっているのではないか、という意見があるが、対策は？</p> <p>⇒事務局：事前に説明し理解を得ながら進めているが、デマンドタクシーで300円、バスで病院まで行くのに300円程度と、片道合計約600円かかる。帰りの予約は1時間前までとなっているが、対応できる限り柔軟に対応している。</p> <p>○小泉委員：行きの予約の際、オペレーターが必ず帰りの予約を勧めている。「時間が読めないから」という方にも、変更やキャンセルもできるからと、なるべく帰りの予約をしてもらっている。</p> <p>(4) くるりん号のキャラクターデザインの決定について *説明資料 P. 24～25 大井川分科会委員による選考の結果、上新田の小島亜早美さんの案に決定した旨を説明した。</p> <p>【質問・説明等】</p> <p>*特になし</p> <p>(1) 大井川焼津線の運行改善策について *説明資料 P. 26～30 運行経費、所要時間改善のための短縮経路の案を説明した。</p> <p>【質問・説明等】</p> <p>○増田(秀)委員：目的に叶った時間短縮ができていると思う。通常、停留所を廃止際に気をつけないといけないのが、それによって困る人が生じることへの配慮であるが、今回の案ではバスの停留所が廃止されても、デマンドタクシーの停留所があるため、問題はないと思われる。</p> <p>【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成総意～ 事務局の提案通り実施する。</p>
------	--

(2) くるりん号の運行改善策について

*説明資料 P. 31～33

利便性向上のため、くるりん号の停留所を13か所新設する案を説明した。

○小泉委員：かねてから要望のあった市民の声を反映させた案になっている。通院のため病院の停留所を増やしたり、グランリバー前の幹線道路を渡らなくてもいいよう、道路の両側に新設したりした。

○神谷委員：社会福祉協議会として、日頃から「近くに停留所が欲しい」といった市民の声を聞くことがある。新規停留所の設置基準などはあるか。

⇒事務局：既存の停留所から原則300m程度の間隔としているが、要望の都度に設置を検討する。また、乗降の安全性確保が必要である。

【採択】

事務局案に賛成の方の挙手

～賛成総意～

事務局の提案通り実施する。

(3) デマンド型乗合タクシーの本格運行への判断評価基準について

*説明資料 P. 34～38

大島・三和地区、大井川地区のデマンドタクシーの本格運行への判断評価基準を説明した。

【質問・説明等】

○山本代理委員：財政面での評価は困難ということだが、今後、事業を継続していくためにも収入に関する指標はあった方がいいのでは。

○増田(秀)委員：地域への必要性ということで、高齢者に注目しているのは良いと思う。例えば、運転免許を返納した人の数は市で把握しているか。

⇒事務局：免許返納者の数は市では把握していない。

【採択】

事務局案に賛成の方の挙手

～賛成総意～

事務局の提案通り実施する。

(4) 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）について

*説明資料資料 P. 27

生活交通確保維持改善計画について説明した。

	<p>【質問・説明等】 *特になし</p> <p>【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成総意～ 事務局の提案通り実施する。</p>
閉会	<p>予定していた議事が終了。</p> <p>静岡運輸支局 増田委員より、地域公共交通会議での議論について説明があった。</p> <p>事務局より、今年度に商工観光課が実施予定のグリーンスローモビリティを活用する事業（つなカート事業）について説明した。</p> <p>第2回焼津市地域公共交通会議は、10月中の開催を予定。協議事項(3)のくるりん号の本格運行への判断評価基準については、大井川分科会で決定した後、公共交通会議委員の皆様には書面で決議を諮る予定であると連絡した。</p>